

社会性の発達状況の把握 と支援のポイント

支援を受けずに成長したために生じる問題

発達障害への理解のない環境

周囲からの叱責「怠けている」「どうしてできない?」「意地悪」
いじめの経験

いじめ
虐待

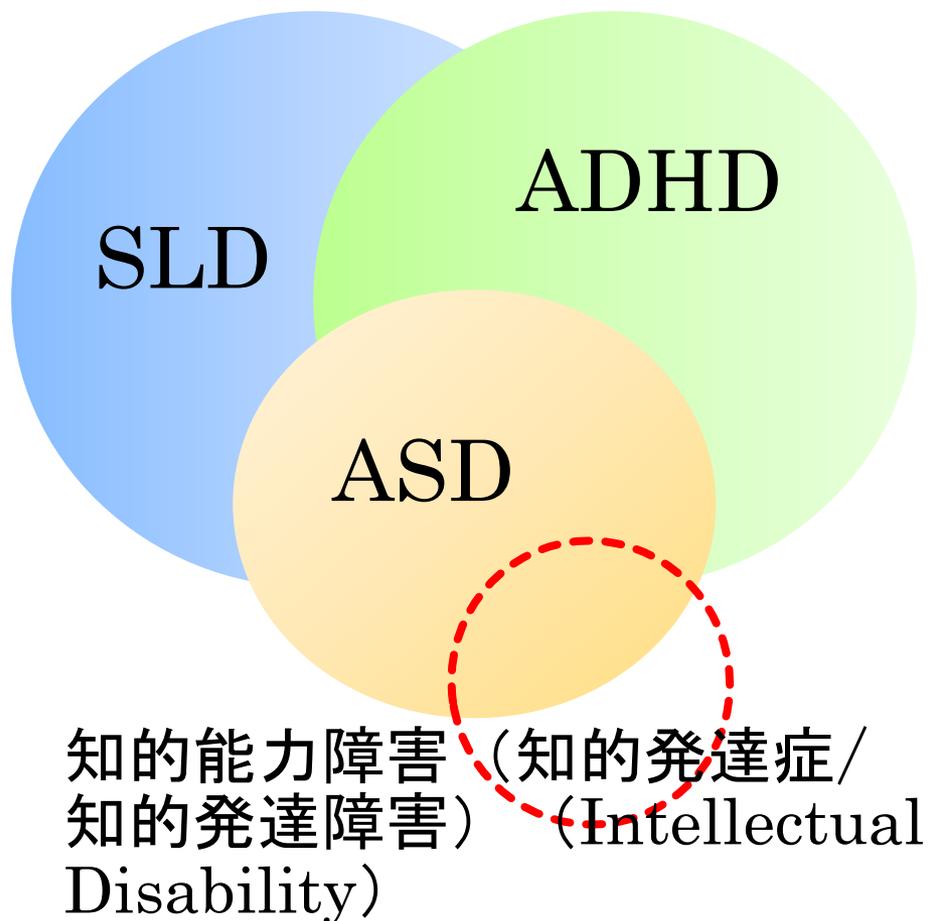
うつ・不安障害
ひきこもりなど
(二次障害)

発達障害
(一次障害)

自己評価の
低下・
不適応感



主な発達障害の種類とその重なり： 神経発達症群/神経発達障害群



- ・ ASD：自閉スペクトラム症/自閉症スペクトラム障害
（Autism Spectrum Disorder）

- ・ ADHD：注意欠如・多動症/注意欠如・多動性障害
（Attention-deficit / Hyperactivity Disorder）

- ・ SLD：限局性学習症/限局性学習障害
（Specific Learning Disorder）

発達障害の早期発見の可能な時期

- 自閉スペクトラム症（ASD）：
 - 1歳6ヵ月から早期兆候が見られ、1歳6か月健診で把握できる
 - 3歳健診では、確実に必ず把握しなければならない
- 注意欠如多動性症（ADHD）：
 - 年少児の多くは落ち着きがないため、1歳6ヵ月では分からない
- 限局性学習症（SLD）：
 - 読み書きなどの高次な機能は、1歳6ヵ月では調べられない

★AD/HDとLDの治療ニーズは学童期に明確化
⇒ 3歳児健診、5歳児健診でその懸念を把握

早期支援のメリット

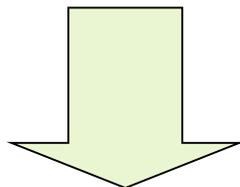
- 早期からの支援は、**社会性の発達を促進する**
- 二次障害を予防し、**長期的社会適応を改善する**
- 本人の自己理解（長所と短所）に役立つ
- 家族が子どもの行動を理解しやすくなり、支援や療育の方法を選択できる
- 家族の心理的負担減とメンタルヘルスの向上

社会性の発達における1歳6か月の重要性

乳幼児の一般的な発達にみられる社会性の飛躍

9-18カ月の特徴：他者の注意がどこに向かっているのか、他者の指さしや視線の方向を探そうとする
(共同注意)

他者（母親などの大人）を、自分とは別の意図を持って行動する存在として理解し始める。



18-24カ月の特徴：言葉を獲得し使用することで、コミュニケーション、社会性、情緒などの様々な側面が絡み合いながら発達する

1歳6か月でみられる社会的行動

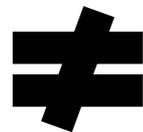
共同注意

- 興味の指さし
- 興味あるものを見せる
- 興味あるのを手渡す
- 指さし追従
- 視線追従

他の社会的行動

- 要求の指さし
- 他者への関心・働きかけ
- アイコンタクト
- 表情・ジェスチャー
- 呼名反応
- 微笑み返し
- 情動（喜び）の共有
- 模倣、ふり遊び

要求



共同
注意

1歳6か月健診でみられる 自閉症スペクトラムの幼児の特徴

- 通常1歳6か月頃までに出現する**社会的な行動が乏しい、あるいは無い**
- 自閉症スペクトラム
に**独特な行動がみられる**ことがある
- その他（激しい癇癢、不安、睡眠障害、不器用など）

幼児期早期の 自閉症スペクトラムに独特の行動

- エコラリア（オウム返し）
- クレーン行動
- 常同行動（手指、全身）
- 興味の限局、没頭
- 感覚的要素への普通でない興味
- 感覚過敏

すべてのASD児で見られるわけではない。
家庭での様子についても幅広く聞き取りする。

1歳6か月児健診で有効なスクリーニングツール：日本語版M-CHAT

- 対象年齢：16～30か月
- 検査方法：保護者がはい・いいえの二者択一で回答（回答時間 約5分）
- 構成：全23項目
- カットオフは3/23（不通過項目数）
- 質問紙と1～2カ月後の電話面接でスクリーニング（複数段階のスクリーニング）

日本語版 M-CHAT (The Japanese version of the M-CHAT)

お子さんの目覚めの様子について、もっとも質問にあてはまるものを○で囲んでください。すべての質問にご回答くださるようお願いいたします。もし、質問の行動をまったくしないと思われる場合は（たとえば、1, 2歳しか見た覚えがないなど）、お子さんはそのような行動をしない（「いいえ」を選ぶように）とご回答ください。項目7, 9, 17, 23 については絵をご参照ください。

1. お子さんをブランコのように揺らしたり、ひざの上で揺ると喜びますか？	はい・いいえ
2. 他の子どもに興味がありますか？	はい・いいえ
3. 階段など、何かの上に登ることが好きですか？	はい・いいえ
4. イナイナイバーをすると喜びますか？	はい・いいえ
5. 雑音の受信器を耳にあててしゃべるまねをしたり、人形や他のモノを使ってごっこ遊びをしますか？	はい・いいえ
6. 何かほしいモノがある時、指をさして要求しますか？	はい・いいえ
7. 何かに興味を持った時、指をさして伝えようしますか？	はい・いいえ
8. クルマや積木などのおもちゃを、口に入れたり、さわったり、落としたりする遊びではなく、おもちゃに合った遊び方をしますか？	はい・いいえ
9. あなたに見てほしいモノがある時、それを見せに持ってきますか？	
10. 1, 2秒より長く、あなたの目を見つめますか？	
11. ある種の音に、とくに過敏に反応して本物様になりますか？（耳をふ）	
12. あなたがお子さんの顔をみたり、笑いかけると、笑顔を送ってきますか？	
13. あなたのすることをまねますか？（たとえば、口をとがらせてみせる）	
14. あなたが名前を呼ぶと、反応しますか？	
15. あなたが部屋の別の離れたところにあるおもちゃを指でさすと、お子さんを見ますか？	
16. お子さんは歩きますか？	
17. あなたが見ているモノを、お子さんも一緒に見ますか？	
18. 顔の近くで指をひらひら動かすなどの変わった癖がありますか？	
19. あなたの注意を、自分の方にひこうしますか？	
20. お子さんの耳が聞こえないのではないかと心配されたことがありますか？	
21. 言われたことばを覚えていませんか？	
22. 知らない音をいっつと見つめたり、目撃なくひたすらうろうろすること	
23. いっつと遠くを歩く時、あなたの顔を見て反応を確かめますか？	



M-CHAT copy right (c) 1999 by Diana Robins, Deborah Fein, & Marianne Barton. Au Mental Health, NCPNP, Japan.
M-CHAT の著作権は Diana Robins, Deborah Fein, Marianne Barton にあります。この所定書・思春期精神科医長の神尾陽子 が著作権所有者から正式に使用許可を得

日本語版M-CHATの項目内容

- 社会的行動（共同注意、他児への興味など）
年齢依存的（1,2,4～10,12～15,17,19,23）
（1歳6カ月という月齢で通過していないことを問題として捉える）
- ASD特異的な行動（11,18,20,22）
年齢に無関係
（年齢に関係なく、それが見られるとASDを疑う）
- 言語理解（21）
- 運動面：ダミー項目（3,16）

* 1歳6か月児健診での重要有効項目6, 13, 5, 15, 21, 9
(Kamio, 2015)

M-CHATの項目の行動観察のやり方①

▶ 呼名反応

用意するもの：特になし

方法：子どもの名前を呼ぶ

観察する行動：大人の呼びかけに子どもが反応するか

▶ アイコンタクト

用意するもの：特になし

方法：子どもの名前を呼ぶ、子どもに話しかける、子どもの注意をひく

観察する行動：大人が関わった際に、子どもが大人の目を見てくるか

M-CHATの項目の行動観察のやり方②

▶ 模倣

用意するもの：コップ、積木、車のオモチャ、

方法：コップで飲む、積木をたたく、車を走らせるなどして子どもに渡す

観察する行動：子どもがすぐに模倣しようとするか(完全に模倣できなくても、試みがあればよい)



M-CHATの項目の行動観察のやり方②

▶ 指さし追従

用意：子どもの後ろ方向にポスターや絵を張る

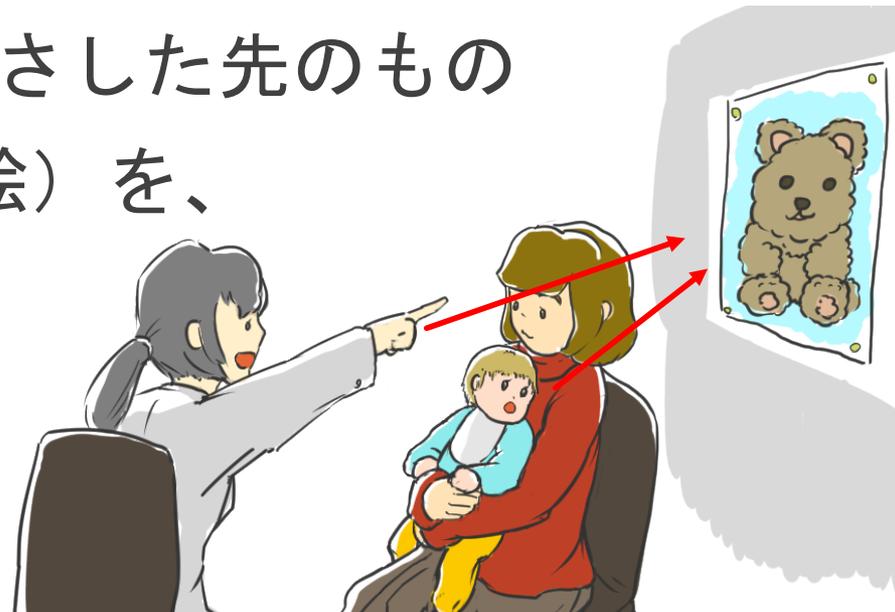
方法：子どもの注意を十分に引きつけた上で、

「あっ！」「ほら！」と言いながらポスターや絵を指さす

観察する行動：人が指さした先のもの

（ポスター や絵）を、

子どもが見るか



M-CHAT質問紙の結果の フィードバック

- 「指さしや真似といった言葉を使わない行動は人とやりとりする力、コミュニケーションする力の発達に重要なので、普段の様子を丁寧に見てみましょう」
- 「個人差が大きい時期なので、1 - 2ヶ月後に、様子を確認させてください（必ず、複数回スクリーニングを行う）」

保護者の不安をいたずらにあおらず、次回の電話面接や保健センターでの面接につなぐ

中部地方M市のフィードバックの工夫

- 観察項目を実施する
- ただ不通過項目を伝えるのではなく、遊び方、要求ができるように選択場面を作るなどの方法を教える

⇒電話面接で、様子を探ねることを自然に伝えることができる



自治体の健診でのM-CHATの導入方法

- 23項目すべてを実施している自治体もあるが、数項目から10項目程度を使用している自治体が多い。
- 健診までに記入してもらってきてもらい、問診の中で確認をしていく。直接観察をここで実施する自治体もある。
- 導入にあたっては、M-CHATの見方、使用方法、電話面接、フィードバックの方法について、健診に携わるスタッフの研修を行うことが多く、また、重要である。

3歳児健診での行動と聞き取りの着目点

【社会性：対人コミュニケーション】

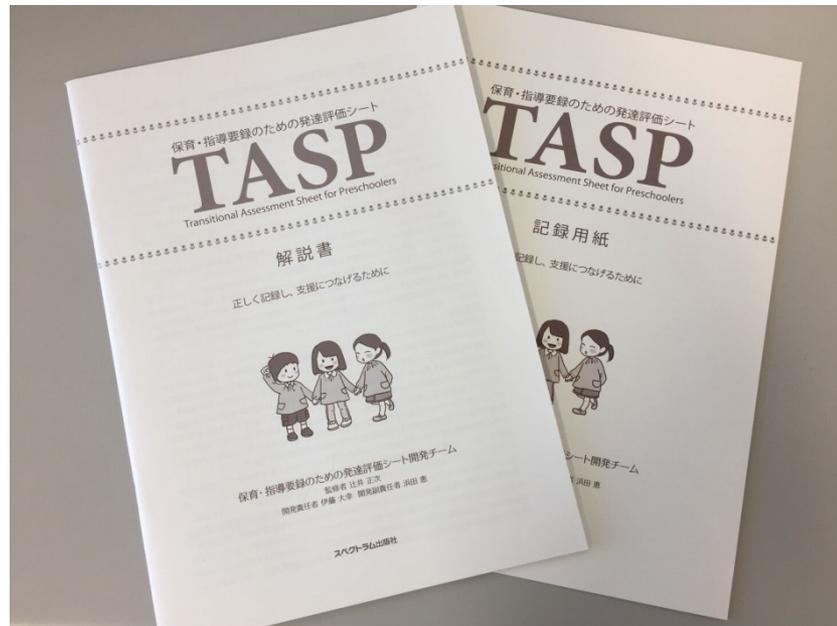
- ◆ アイコタクト・呼名反応が少ない
- ◆ 表情やジェスチャーが少ない
- ◆ 同年齢の子どもと遊ばない・こっこ遊びをしない
- ◆ 言語発達が遅れている
- ◆ 奇妙なイントネーション、抑揚
- ◆ 会話が続かない

【反復行動・興味の限局】

- ◆ 変わったものへの興味
- ◆ 興味への没頭
- ◆ 決まった手順にこだわる
- ◆ 切り替えが苦手
- ◆ 決まったフレーズを繰り返す、同じビデオを見る
- ◆ おもちゃの部分で遊ぶ
- ◆ 感覚の敏感/鈍感さ・偏食
- ◆ 感覚面への興味

3歳児健診で使用できる スクリーニングツール

- 3歳児健診で使用できる、アセスメントツールはほとんどない
- 以下のスクリーニングツールなどから、3歳児健診用スクリーニングが開発されることが望まれる



健診後の保健センターを中心とした フォローアップと支援

子どもへの支援

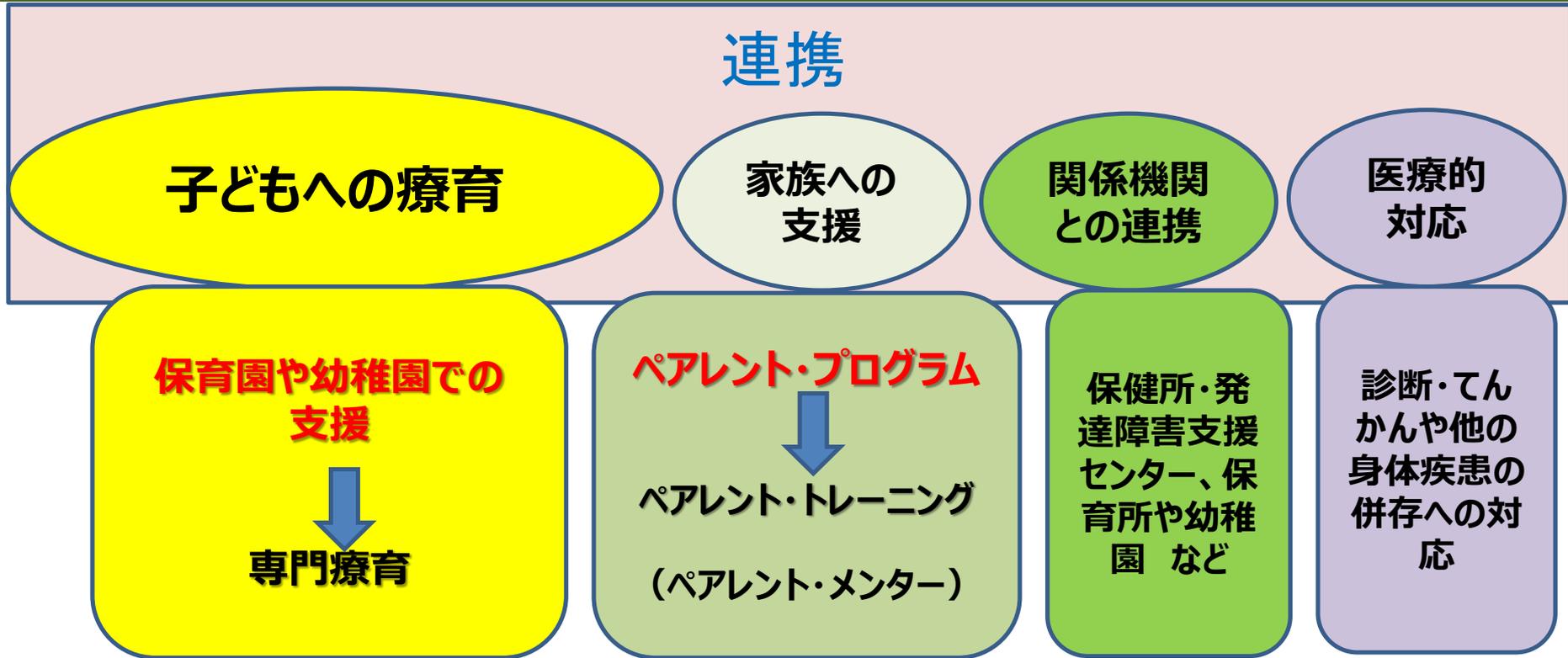
- 母子グループ
- 地域の保育園・幼稚園の巡回相談
- 新しい試み：
- 多職種からなるグループでの保育園・幼稚園の巡回相談

家族支援への支援

- 母子グループ
- 保健師・心理士による保護者相談
- 新しい試み：
- ペアレントプログラム実施



多機関連携による フォローアップと支援



継続し、適応的な生活を送り成長する

乳幼児健診から始まる生涯にわたる支援 ～関東地方T市の例～

